有機農業を始めたい農家の方、オーガニック給食にしたい市民の方、
オーガニック給食を始めたい自治体必見‼

第10回田の草フォーラム特別編

オーガニック給食を支える
有機農業技術大集合

メダカのがっこう

　オーガニック給食へ動き出した日本！　地産地消で無農薬に近いものを取り入れ始めた自治体は123市町村、先日の全国オーガニック給食フォーラムには、24自治体の首長さんがオーガニック給食がんばるぞ！　と表明してくれました。農水省のみどり戦略のオーガニックビレッジ宣言には55市町村が手を挙げ、2050年までに農地の25%を有機にするという国の目標に沿って、有機農業の拠点になろうとしています。これから都会からの移住を考えている人たちの目標にもなるでしょう！

　ですが、大問題が控えています。首長さんがオーガニック給食を始めようとしても、まず有機農作物が圧倒的に足りません。現在の有機農家は生産を増やせないケースが多く、急増する需要には応えられません。新たに慣行農家の方に有機栽培に転換していただく必要があります。

　そこで、第10回田の草フォーラムは、今実際にオーガニック給食の有機農作物の技術指導をしている５つの有機農業技術を指導者の方から直接お話していただこうと思います。また各自治体の技術指導の取り入れ方、研修費などの目安、技術研修に対する農水省からの支援説明なども予定しています。
　また、実際、技術指導はあるのか、収量や労力は見合うのか、収入は大丈夫なのか、など取り組み始めた農家の方々の声も紹介いたします。

　オーガニック給食も有機農業の拡大も、目標達成すれば、より良い環境と安全な食料に困らない日本を次世代に残せることになり、私たち大人の責任が果たせます。自治体も、学校も、農家も、市民も、心をひとつにして総力戦で成功させましょう！
　みなさまのご参加をお待ちしております！

2023年1月18日(水)10:00～18:15
参議院会館1階101会議室（東京都千代田区永田町）

方式：会場とオンライン
　会場参加　資料代　500円
　オンライン参加(資料ﾒｰﾙ添付）500円

振込先：ゆうちょ銀行　10120-74357401
　みずほ銀行 西荻窪支店 普通2158356
　口座名　NPO法人メダカのがっこう

問合せ先：npomedaka@yahoo.co.jp
　0422-70-6647(メダカのがっこう)
　中村陽子携帯　090-3472-2038

申込み：メダカのがっこうHP
　参加者募集から
　https://00m.in/ZZqdo

主催：NPO法人メダカのがっこう

共催：(公財)自然農法国際研究開発センター、NPO法人民間稲作研究所、秀明自然農法ネットワーク(予定)

協賛：募集中です。すべて自主費用で賄っています。時は今だと思い、緊急企画しました。よろしかったら、少しでも協賛金をお願いします。
協賛してくださった方に、後日アーカイブ配信させていただきます。
協賛は1000円から。

協賛申込み： https://00m.in/tDWre

スケジュール

第１部　10:00-13:00

冒頭：中村陽子　趣旨説明　15分
10:15　有機への転換に挑戦した農家の動画
　　５分×３本

10:30　農水省から有機農業技術普及に使える
　　事業の説明

11:00　民間稲作研究所の考え方と指導の概要
　　舘野廣幸氏　（講義45分+15分質疑応答）

12:00　自然農法センターの考え方と指導の概要
　　岩石真嗣氏（講義45分+質疑応答15分）

13:00　お昼休み

第２部　14:00-18:15

14:00　JAが取り組むはくい式自然栽培の概要
　　粟木政明氏（講義45分+質疑応答15分）

15:00　菌ちゃんふぁーむの考え方と指導の概要
　　吉田俊道氏（講義45分+質疑応答15分）

休憩15分

15:15　BLOF理論の考え方と指導の概要
　　小祝政明氏（講義45分+質疑応答15分）

17:15　大地の再生技術で環境改善の事例紹介
　　酒井賢治氏(秀明自然農法ネットワーク)
　　(講義20分+質疑応答10分)

17:45　パネルディスカッション
　　(各自治体の技術指導の取り入れ方や、
　　研修費の目安なども話題に)

18:10　日本の小中学生950万人を有機米給食に
　　するために、2030年までに田んぼの2%を
　　有機にする宣言

18:15　終了

番外編/大地の再生

農法以前の問題に、周辺環境からくる農地の地下の空気や水の流れのつまりがあります。これを大地の再生技術で環境改善した事例を紹介します。具体的施工例を数多くお持ちの、秀明自然農法ネットワークの酒井賢治氏から報告していただきます。
https://channel.snn.or.jp/movies/761/

講師紹介

民間稲作研究所

舘野廣幸氏

NPO法人民間稲作研究所理事長　舘野かえる農場主　稲葉光國氏が旅立たれた後、理事長としての重責を担っている。草や生きものの働きをできるだけ活かし、土を作り稲を守っている。宮沢賢治の研究者としても有名。

自然農法センター

岩石真嗣氏

(公財)自然農法国際研究開発センターフェロー　自然農法センターでは毎年稲作の交流研究会を開き、技術の向上を図っているが、その中でも稲作期間中に、稲のやる気を出し、草のやる気をなくす田んぼづくりの研究の第一人者である。

はくい式自然栽培

粟木政明氏

JAはくい経済部次長　能登の稲作農家出身。奇跡のリンゴの木村秋則さんの地球愛と自然界から答えを見つけていく姿勢に深く影響を受け、JAに自然栽培部会や、のと里山農業塾を開催している。

菌ちゃん農法

吉田俊道氏

菌ちゃんふぁ～む園主　草や生ごみを使って菌ちゃんいっぱいの土づくりをし、ファイトケミカルいっぱいの野菜を作り、子どもたちの腸を菌ちゃんいっぱいにすることを全国発信している。

BLOF理論

小祝政明氏

株式会社ジャパンバイオフォーム代表取締役(一社）日本有機農業普及協会代表理事　独自の有機栽培技術「BLOF理論」の開発者。客観的データ理論を駆使した有機栽培の実際を指導している。